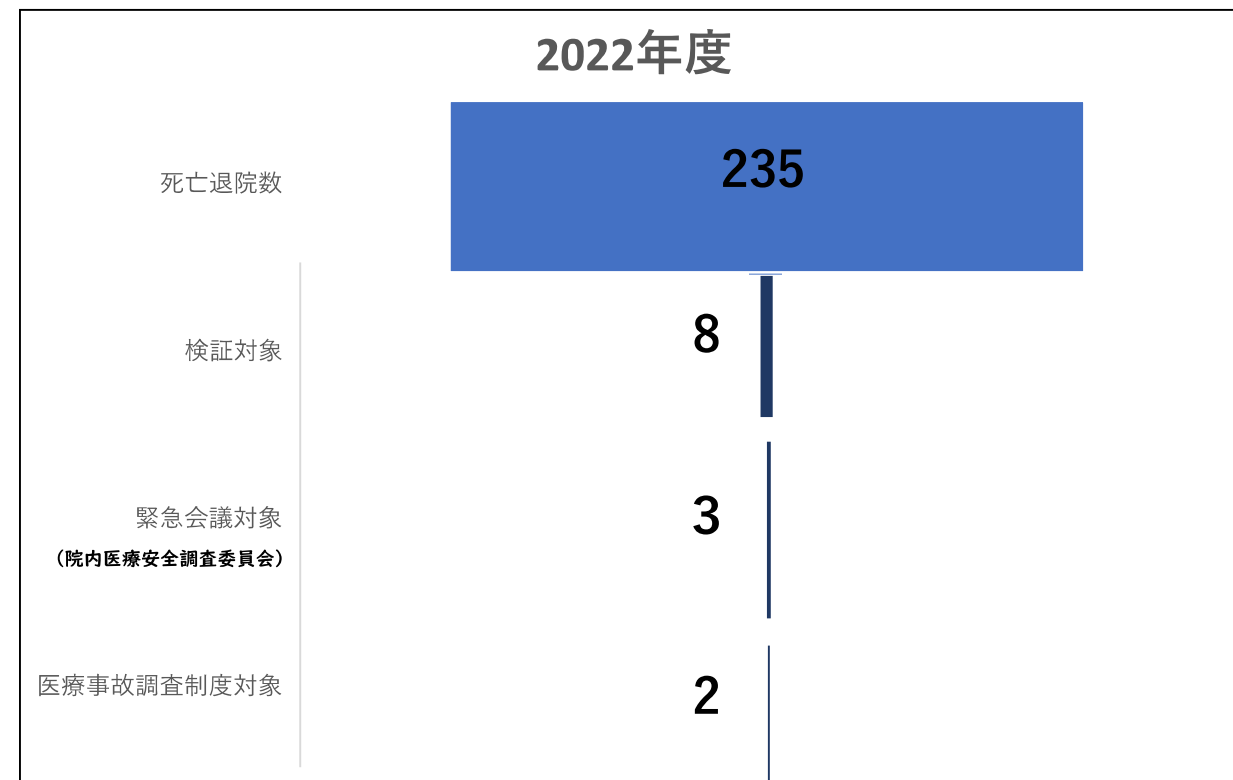
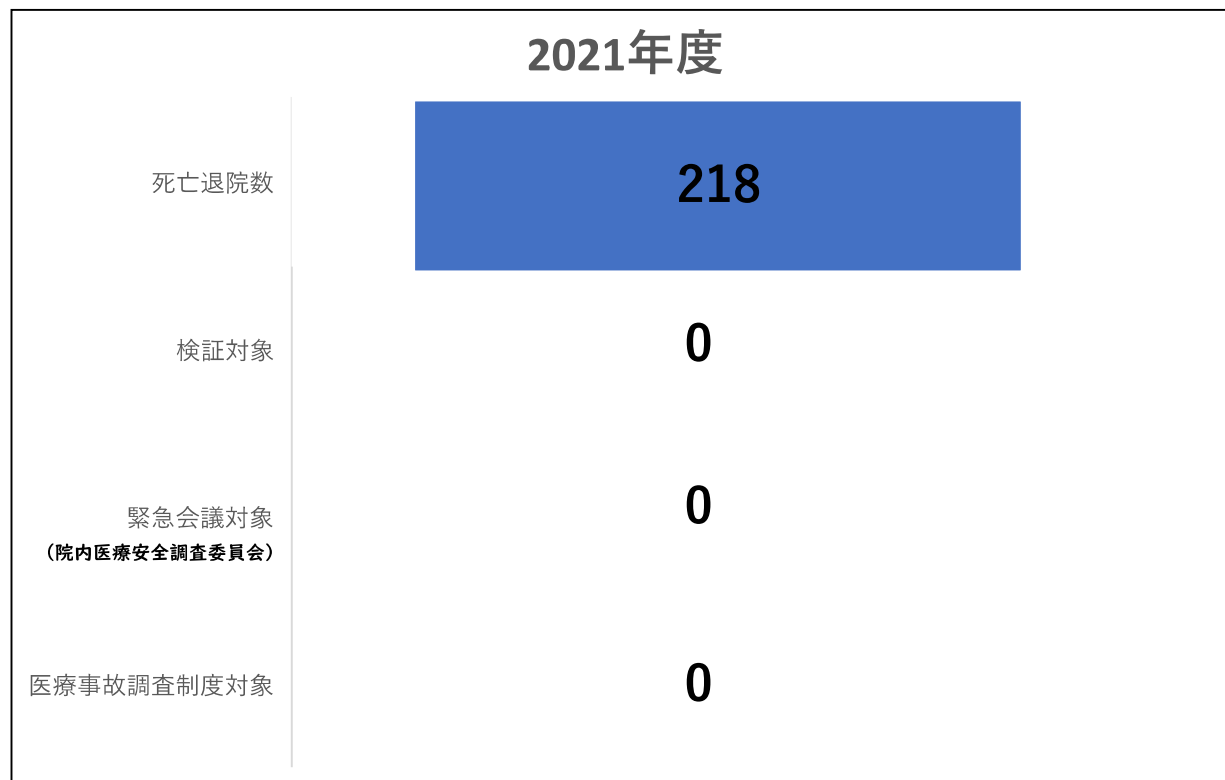


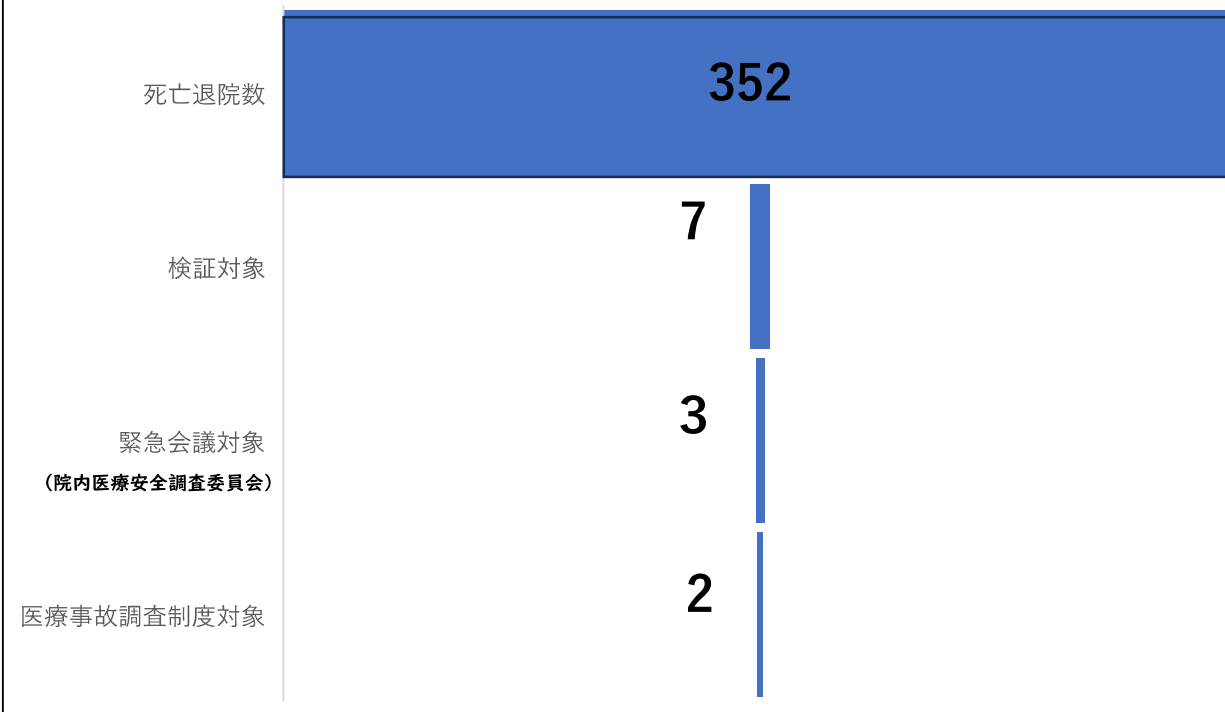
神戸徳洲会病院
医療事故抽出ピラミッド
2021年度～2024年度

- 全死亡退院患者に対して「死亡レビュー」を実施している
- 「死亡レビュー」において検討が必要と判断し、医療安全対策室内でカンファレンスを実施したものを「検証対象」としている
- 「検証対象」の中で、「院内医療安全調査委員会」の対象となったものについて、「緊急会議対象」としている
- 「院内医療安全調査委員会」において、医療に起因した予期せぬ死亡と判断され、最終的に管理者（病院長）の決定のもと、「医療事故調査制度報告対象」としている

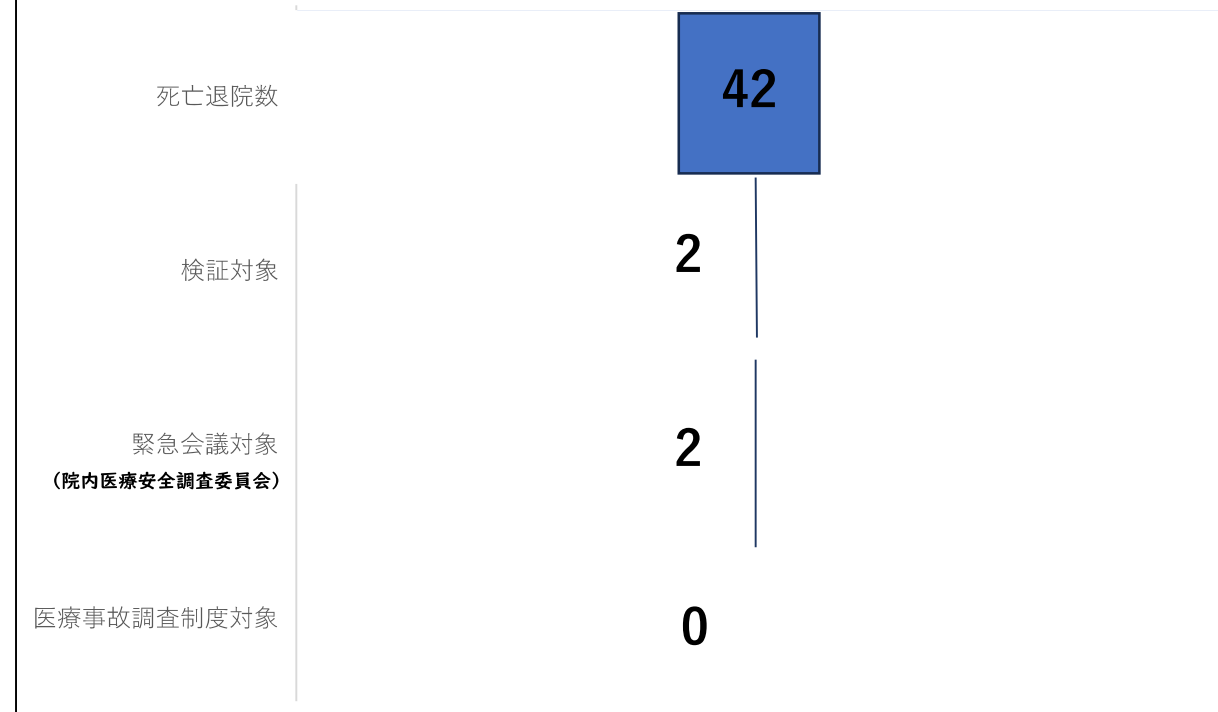


- 2021年度は死亡退院数218件で、検証対象、緊急会議対象、事故調対象は 0
- 2022年度は死亡退院数235件で、検証対象8件、緊急会議対象3件、事故調対象2件
 - 検証対象はカテーテル事案7件、離院事故1件
 - 緊急会議対象はカテ事案2件、離院事故1件
 - 事故調対象はカテ事案2件

2023年度



2024年度（4月-11月）



➤ 2023年度は死亡退院数352件で、検証対象7件、緊急会議対象3件、事故調対象2件

- 検証対象はカテーテル事案4件、糖尿病見落とし1件、気管支鏡事例1件、シリンジポンプ1件
- 緊急会議対象は糖尿病見落とし1件、気管支鏡事例1件、シリンジポンプ事例1件
- 事故調対象は糖尿病見落とし1件、気管支鏡事例1件

➤ 2024年度は死亡退院数42件で、検証対象2件、緊急会議対象2件、事故調対象0件

- 検証対象は入院直後の心肺停止事例1件、透析患者（三枝病変）の心肺停止事例1件
- 緊急会議対象は入院直後の心肺停止事例1件、透析患者（三枝病変）の心肺停止事例1件
- 上記以外に、死亡退院事例ではないが「院内医療安全調査委員会」として検証したものは8件

院内医療安全調査委員会の対象事例について

当院では、以下の事例が発生した場合、「院内医療安全調査委員会」を開催し、当該事例の原因・分析を対策立案を実施します。
また、死亡事例については医療法で定められた「医療事故調査制度」への報告事案か否かを判定し、対象事例の場合は外部委員を招いた「医療事故調査委員会」にて検証を行います。

①	インシデントアクシデントレポート事故レベル4b及び5のすべての事例。
②	医療安全対策室における「医療事故発生/死亡事例カルテレビュー」において、調査対象と判定された事例。
③	手技中に生じた危機的偶発症例及び予定手術時間の2倍または4時間以上の手術となった事例として報告が上がった事例。
④	関連学会が示した合併症率・死亡率より高度に逸脱した症例。
⑤	事故レベルに関わらず、患者及び家族から訴えがあり、患者相談窓口から医療安全対策室に報告し必要と判断した事例。
⑥	職員から医療安全上の問題があると報告が上がり、医療安全対策委員会及び医療安全対策室が必要と認めた事例。
⑦	その他医療安全対策室及び医療安全対策委員会にて必要と判定した事例。

- ※ 本委員会の対象は過失の有無を問いません。また、職員個人の責任を追及するものではありません
- ※ 本委員会は当該発生事例に精通した専門家を徳洲会グループ他病院より招聘して実施します。
- ※ 医療安全の向上を目的とした委員会のため、積極的にレポート提出をお願いします。また、何かおかしいな？と思った事例は遠慮なく医療安全対策室までご連絡ください。

医療安全管理者PHS●●●または医療安全対策室●●●●